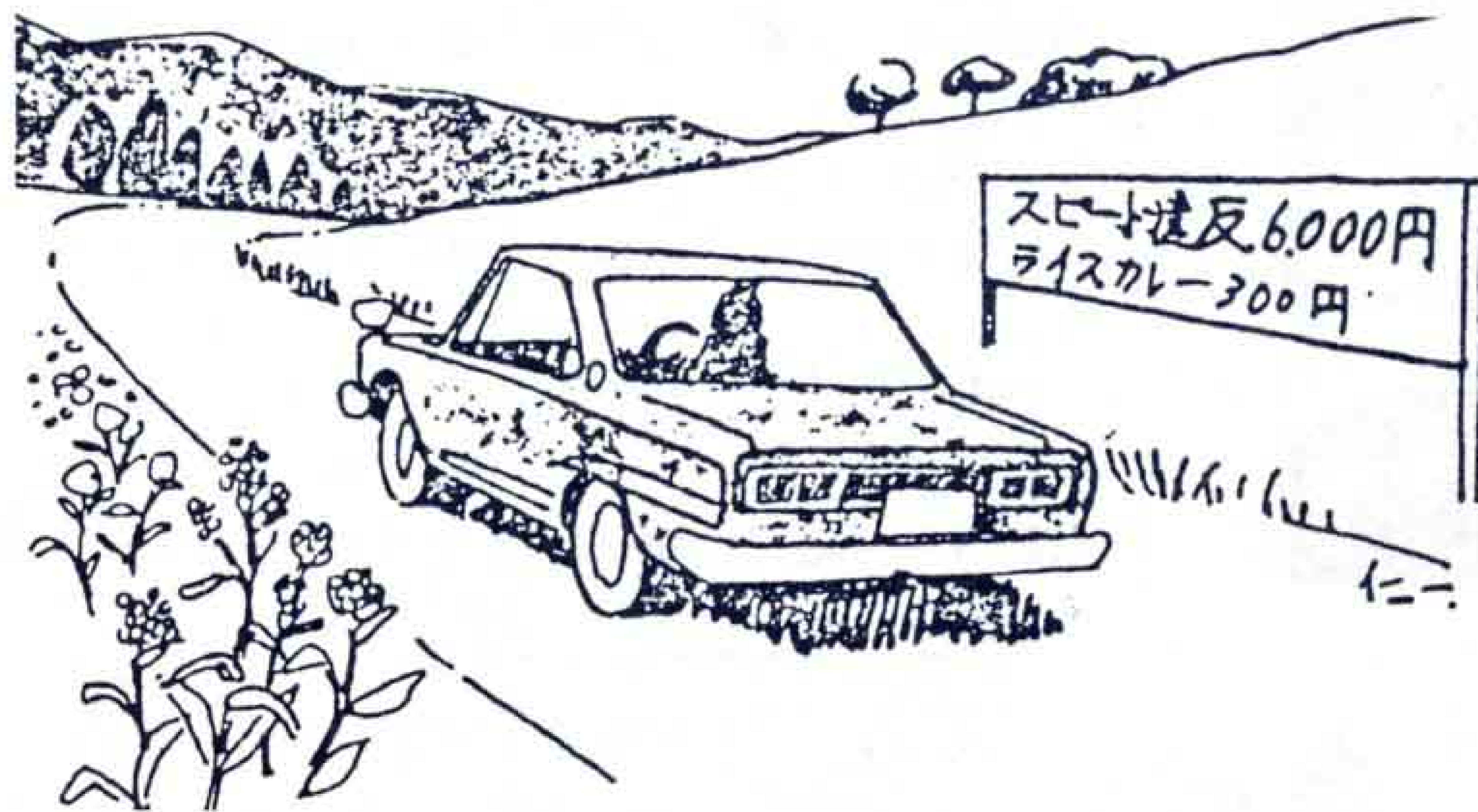


“ドライブは安全運転で、”

市内の交通事故の実態

秋の交通安全運動3日目の9月23日(土)の深夜、三人乗りの普通乗用車が、市道のカーブを曲りきれず道路の右側のガードレールに衝突、運転者と同乗者1人が即死する事故

が起きました。行楽シーズンを迎え、車でお出かけの人が多いと思いますが、このようなときは、解放的な気分になり、運転も乱暴になりがちです。



旧軽免許又は旧三輪免許を持って限定解除審査を受ける人へ

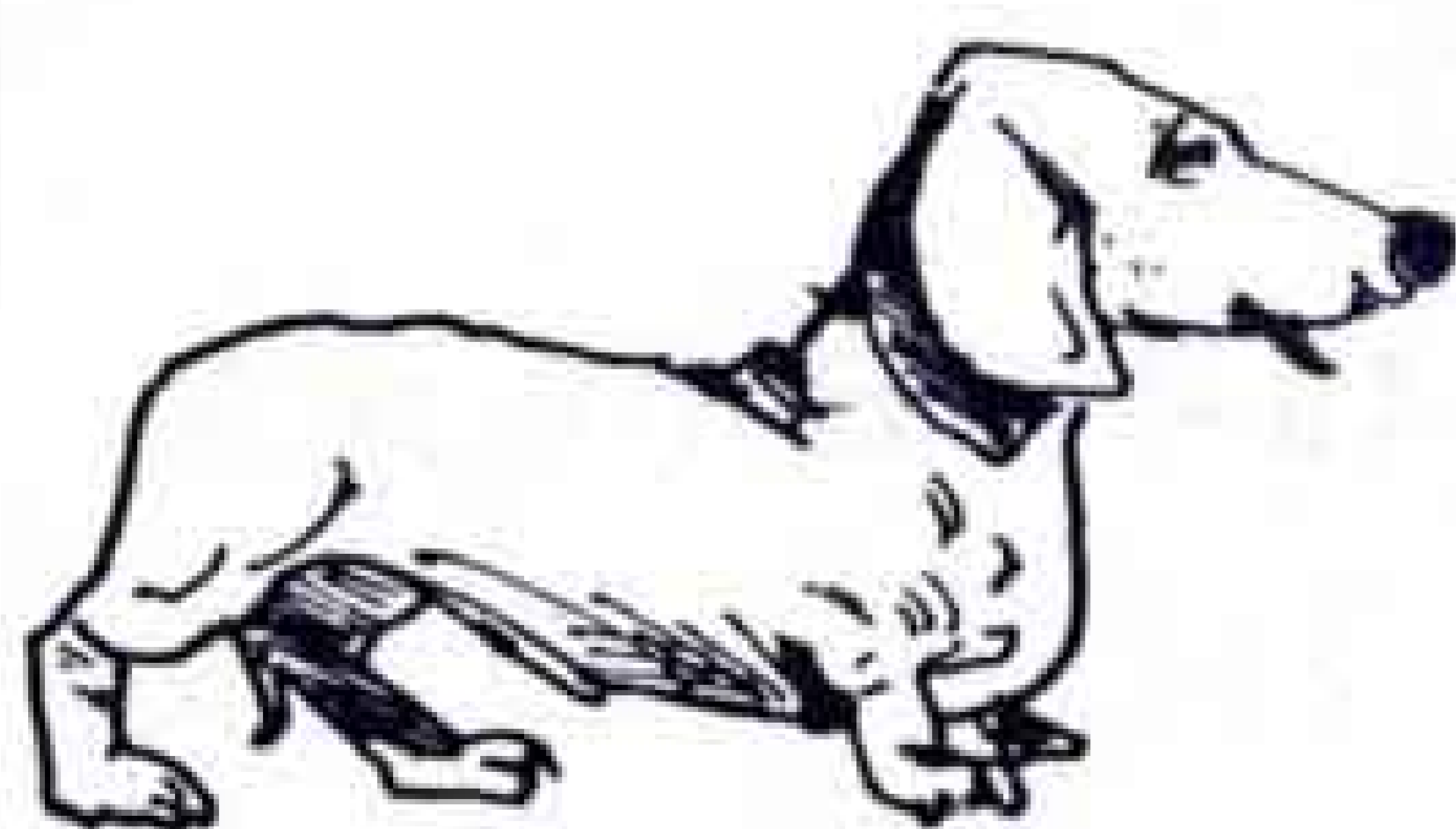
現在、普通免許を受けていて、運転できる自動車が旧軽自動車(360cc)または自動三輪車に限定されている人が、これ以外の普通自動車を運転しようとするときには、あらためて限定解除の技能検査を受け、その審査に合格しなければなりません。

9月21日から審査方法が改正され審査についての便宜がはかれることになりました。審査を受ける手続きにつきましては、警察(電話52-2543番)の交通課運転免許係にお尋ねください。

犬の放し飼いは困ります

犬の放し飼いは、市の条例で禁止されています。

おとなしい犬だからといっても、知らない人にはこわいものです。他人に危害を加えたり、畑を荒したりすることのないよう、必ず犬はつないでおいてください。



きめられたスピードを守り、安全運転に心がけましょう。

9月の人身事故は70件

9月に入って24日までに管内で発生した交通事故は

- ・人身事故…70件(前月比9件増)
 - ・死者…2人(同1人増)
 - ・負傷者…90人(同8人増)
 - ・物損事故…69件(同4件減)
- で主な原因は

- ▶オートバイが交差点で出合頭にぶつかったり、追越しのための正面衝突……12件
 - ▶バイクが運転不慣れのため、カーブでハンドルを切りそこなったり交差点で左折する車にはねられた……9件
 - ▶自転車がせまい道路から急に出て来たり、合図をせずに、いきなり曲ったため、前や後から来た車と衝突……7件
- などです。

郵便局の簡易保険

郵政省の簡易保険料は、加入者の共同の信託財産として大切に管理運用されていますが、こととして二十五周年をむかえ、この資金も去る七月四日で十兆円を突破しました。当市においても吉原郵便局を通じて現在五十三億円余の簡保資金の融資を受けております。

主な融資施設は、岳陽中学校の校舎建築をはじめ、富士見台団地、富士川緑地公園などです。郵便局の簡易保険は、万一の時の保障や、生活設計に役立っているだけでなく、住みよいまちづくりにも役立っています。